

令和3(2021)年度第1回水工学委員会および幹事会 議事録(0616最終版)

日時：令和3年6月8日(火) 09:30~12:30

場所：オンライン (Zoom)

出席者：立川康人, 矢野真一郎, 溝口敦子, 赤松良久, 朝田将, 荒木千博, 市川温, 入江政安, 岩崎理樹, 内田龍彦, 梅田信, 大石哲, 大澤範一, 小田僚子, 柿沼太貴, 陰山健太郎, 鼎信次郎, 川池健司, 川越清樹, 小林健一郎, 佐藤隆宏, 山上路生, 重枝未玲, 杉原裕司, 鈴木良徳, 須藤達美, 諏訪義雄, 武田誠, 竹林洋史, 田端幸輔, 田中規夫, 田中賢治, 谷口健司, 田村隆雄, 椿涼太, 手計太一, 中山恵介, 二瓶泰雄, 平林由希子, 宮本仁志, 三輪浩, 森脇亮, 山口弘誠, 山田朋人, 芳村圭 (45/50名)

中川一(顧問), 寶馨(顧問), 清水康行(顧問), 山城賢(オブザーバ), 林淳二(土木学会事務局)

欠席者：泉典洋, 風間聡, 佐山敬洋, 知花武佳, 戸田祐嗣 (5/50名)

記録者：重枝未玲 (以上, 敬称略)

0. 立川委員長挨拶

- ・議事に先立ち, 立川委員長・溝口編集幹事長より挨拶があった。

≪報告事項≫

1. 令和3年度水工学委員会構成(幹事長), 各委員自己紹介(顔合わせのみ) 資料 1-1,2

- ・矢野幹事長より今年度の水工学委員会の構成, 委員会内の部会, 小委員会について説明があった。
- ・ZOOMによる各委員の顔合わせが実施された。

2. 令和3年度の年間スケジュール(幹事長) 資料 2

- ・矢野幹事長より年間スケジュールの説明があった。

3. 令和3年度水工学に関する夏期研修会(徳島大学, 田村委員) 資料 3

- ・田村委員より, 準備状況(オンライン開催, ホームページからの受付, オンラインWGへの協力要請)が説明された。また, 参加要請がなされた。不正参加の防止については, オンラインWGとの協議となった。

4. 水シンポジウム2021in群馬(二瓶委員) 資料 4-1,2

- ・二瓶委員より, 準備状況(開催日, 会場, メインテーマ, 実行委員長, 対面およびオンラインでのハイブリッド開催, コロナ禍における開催可否の判断基準と判断時期, 実行委員会, プログラム, 基調講演, 第1・2分科会, 現地見学会)が説明された。

5. 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画

- 部会：水文部会(鼎委員) 資料 5-1
- 河川部会(諏訪委員) 資料 5-2
- 基礎水理部会(田中規委員) 資料 5-3
- 環境水理部会(竹林委員) 資料 5-4

➤小委員会：水害対策小委員会（大石委員）	資料 5-5
河川観測高度化小委員会（椿委員）	資料 5-6
グローバル気候変動適応研究推進小委員会（中山委員）	資料 5-7
河道管理小委員会（田中規委員）	資料 5-8
➤関連委員会：CommonMP（風間委員（代理：幹事長））	資料 5-9
IAHR Japan Chapter（川池委員）	資料 5-10
土木学会論文集編集委員会（内田委員）	資料 5-11
河川懇談会（二瓶委員）	資料 5-12
インフラ体力委員会（二瓶委員）	資料 5-13
インフラメンテナンス関係委員会（戸田委員（代理：幹事長））	資料 5-14
海岸工学委員会（入江委員）	資料 5-15

- ・各部部长，小委員長および関連委員から，各分会，各小委員会，関連委員会の活動報告と今年度の予定に関して説明があった。詳細は資料の通りである。
- ・ 寶顧問より，9月18日オンライン開催の日本学術会議公開シンポジウム「「水」と水循環の研究最前線—21世紀の他分野協創研究に向けて」の紹介があった。

6. 令和2年度水工学委員会の活動評価（幹事長） 資料 6

- ・ 矢野幹事長より，水工学委員会がAランクの評価であり，この評価に伴って調査研究費の2021年度配分額が93.4万円となったことが報告された。

7. その他

- ・ 特になし。

≪ 協議事項 ≫

1. 令和3年度第66回水工学論文集査読スケジュール・編集作業等（編集幹事長） 協議資料 1
 - ・ 溝口編集幹事長より，編集作業スケジュールについて説明があり，承認された。論文集の電子化に伴い，後半のスケジュールに遅れが生じる可能性もある旨が説明された。
 - ・ 近年の投稿状況が示され，一部部門への投稿集中が課題であることが示された。その対応として，来年度に向けて，部部长，小委員会委員長，編集小委員会幹事会で「投稿部門，キーワードの見直し」を議論し，水工学委員会へ案を示すことが提案され，承認された。
 - ・ 投稿受付についてファイルサイズの上限の変更，投稿規約の修正が提案され，承認された。ただし，投稿規約については，土木学会で規定されているので，土木学会に確認することとなった。
 - ・ 今年度の水工学講演会の研究発表会運営方針が説明され，討議時間の確保のために，講演会全体の構成を見直すことが提案された。論文賞発表会のオンライン実施，アゲールシンポジウムと河川災害シンポジウムの開催時期，シンポジウムのオンサイトとオンラインのハイブリッド開催，次年度の企画セッションの募集などが議論された。執行部が，6月末締め切りの論文投稿数を踏まえて運営方針案を示すこととなった。
 - ・ 論文集のWEB公開に向けてCONFITの導入が提案され，原案通り承認された。

- ・WEB化に伴う企業広告費の据え置き・減額については継続して審議することとなった。
- ・アウトスタンディング・ディスカッション賞の受賞候補者について提案があり，原案通り承認された。

2. 令和3年度第66回水工学講演会について（富山，手計委員） 協議資料2
 ・手計委員より，開催計画(開催日時，場所，部屋割り，費用)の説明があり，原案通り承認された。特別講演，アゲールシンポジウムの実施日時，オンサイトでの実施判断時期については，執行部と調整することとなった。

3. 令和4年度以降の水工学講演会，夏期研修会，水シンポジウム

- 令和4年度第67回水工学講演会（愛媛大，幹事長） 協議資料3-1
- 令和4年度水工学に関する夏期研修会（東京，海岸工学委員会担当，幹事長）
- 令和4年度水シンポジウム（山形県，風間委員（代理：幹事長）） 協議資料3-2
- 令和5年度の水工学講演会等の開催地・担当について（幹事長） 協議資料3-3

- ・矢野幹事長より，以下が説明され承認された。

令和4年度「第67回水工学講演会」(担当：森脇委員)を2022年11月23日(水)~25日(金)において，愛媛県松山市で開催。

令和4年度水工学に関する夏期研修会(担当：小田委員)を東京都で開催。

令和4年度水シンポジウム(担当：風間委員，山形県開催)の会場，日程，実行委員，担当部会，テーマ，サイドイベント（ダムナイト：梅田委員担当）。

- ・これまでの水工学講演会・夏期研修会・水シンポジウムの開催状況について説明された後，以下が提案され承認された。

令和5年度の水工学講演会を大阪府（担当：入江委員）で開催。

令和5年度の水工学に関する夏期研修会を札幌市（担当：岩崎委員）で開催。

令和5年度の水シンポジウムを佐賀県（担当：佐賀大大串教授）で開催。

4. 地球温暖化観測所設置に関する共同要望書について（幹事長） 協議資料4
 ・矢野幹事長より地球温暖化観測所設置に関する共同要望書への協力依頼について説明があり，水文部会，グローバル小委員会を中心に継続して審議することが承認された。

5. JSCE-CCES Joint Symposium について（幹事長） 協議資料5
 ・矢野幹事長より，第3回 JSCE-CCES Joint Symposium（オンライン）について説明があり，原案通り承認された。水工関係者10名が登壇予定。

6. 令和3年度の水工学委員会の予算について（幹事長） 協議資料6
 ・矢野幹事長より，令和3年度の水工学委員会の予算（概算案）について説明があり，原案通り承認された。

7. オンラインWGの小委員会化について（幹事長） 協議資料7

・矢野幹事長より、オンラインWGの小委員会化が提案され、原案通り承認された。委員長：入江委員，副委員長：谷口委員，幹事：岩崎委員。各部会，研究小委委員会から1名ずつの委員を派遣。

8. その他

・特になし。

○水工学論文賞選考委員会報告

1. 令和3年度水工学論文賞，同奨励賞候補論文について（編集幹事長） 資料：画面表示のみ

・溝口編集幹事長より，論文賞（1編）および奨励賞の候補論文（2編）について説明があり，原案通り承認された。

2. その他

・特になし。